

きょうの面紙

公共

県議会／27議案等審議
流域治水を一層加速へ 2

公共

富館道4車化や新湾岸
国交省と財務省に要望 2

公共

県／住宅被害相
リフォーム協の

あいさつする寺田理事
長



中小企業診断士で社会
保険労務士の笠井講師



「安心・安全のためのイン
フラ整備の必要性と、その

「数年に一度は起きるの
ではないかと認識を改めてい
る」と言明。

また、今回の災害を機に
「労務管理チェックシ
ー」で48項目を判定した

「説明責任」のコンプライ
アンスが求められている。

このため同組合では、企
業価値の向上やリスク低減
を図ることを目標に、千葉
県中小企業団体中央会の協
力を得て、コンプライア
ンスに関するセミナーを企
画。全4回のシリーズを通
じて、コンプライアンス対
応を「守り」ではなく「経
営の基盤」にすることを目
的とした。

この日のセミナーの主な
内容は、▽ハラスメント対
策の法的義務（全体像と義
務の範囲など）▽パワハラ
の事例▽パワハラ指導と
境界線▽労働時間管理▽年
次有給休暇▽ストレスチェ
ック制度▽労働安全衛生法
の法的義務▽熱中症対策▽
労務管理に関する法改正情
報——に加えて、ワークと
して「労務管理チェックシ
ー」を使用し、聴講者各
自が直ちに取組める対策
などを洗い出した。

【第2回実践コンプライ
アンスセミナー聴講者】
▽寺田裕之（㈱テラコ
ン）▽寺田玲寛（同）▽莊
司和哉（千葉建築㈱）▽石
橋章友（同）▽花澤耕一
（㈱花澤工業所）▽林 謙
二（㈱林建材）▽太田大介
（千葉県コンクリート製品
協同組合）

県コンクリート製品協組 命と心守る現場ルール

2回目 実践コンプラセミナー

千葉県コンクリート製品協同組合（寺田裕之理事長）は8月19日、千葉市内の千葉中央駅前ビルの組合会議室において、組合員を対象とする「第2回実践コンプライアンスセミナー」を開き、7人が聴講した。7月から1回のペースで10月まで、全4回のセミナーをシリーズで行っている。講師は、笠井中小企業診断士社会保険労務士事務所所長の笠井郁史氏が務める。第2回目は「労務・命と心を守る現場のルール」をテーマとし、①ハラスメント対策は4措置が義務②36協定・有給休暇は違反に罰則あり③安全衛生は生命に關わる経営義務④法改正は毎年チェックが必要——な



実現が如何に大事であるかを突き詰められ、我々コンクリート二次製品業の出番が来るのではないかと感じている」とし、その社会貢献のために「一生懸命に仕事をし、生き残りを図らなければならない」と力を込めた。

京葉臨海コンビナートの
鳥瞰



中心に位置付け、当該会議の会員企業を中心に、同区域のGX関連の投資活動の検討を進めていく。
基本戦略として、日本最大級の京葉臨海コンビナートにおいて、素材・エネルギー

南流山駅周辺の事業予定内容



ための基盤整備検討調査」を含む7件の支援を決定したと、4日に発表した。南流山駅前広場再整備の基盤整備検討調査については、事業費3000万円のうち、1500万円を支援す

を行う。
南流山駅周辺は、つくばエクスプレス開業とJR武蔵野線との結節により交通便利性が高まり、子育て世代を中心に人口が集積する住宅市街地として発展して